

令和元年度第1回教育モニターアンケートの結果について（実施状況等）

1 実施状況

(1) アンケートの対象等

対 象	人 数	回答数 (回答率)	実施 方法	選考方法等
県民(公募)	190人	181人 (95.3%)	イン ター ネ ット	県内在住の満18歳以上の県民からの応募により 選考
保護者等	650人	534人 (82.2%)		公立小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校 及び県立高等学校から1名を推薦依頼
教 員	353人	334人 (94.6%)		無作為抽出
計	1,193人	1,049人 (87.9%)		

(2) アンケート実施期間 令和元年7月26日（金）～9月1日（日）

2 内容

- (1) 県教育委員会の方針の認知度について
- (2) 学びの変革について
- (3) 県立広島叡智学園中学校・高等学校及び県立三次中学校・高等学校について
- (4) 高校生の留学について
- (5) 学校生活に関連する関心事項について（「保護者等」のみに質問）

県教育委員会の方針の認知度について

問1. 広島県の教育目標「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現」を御存知ですか。

【選択肢】※選択肢の中から1つ選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 知っている	50人	27.6%	117人	21.9%	267人	79.9%
2 知らない	131人	72.4%	417人	78.1%	67人	20.1%

問2. 問1で「1 知っている」を選択された方にお伺いします。
知ったきっかけは、何ですか。

【選択肢】※選択肢の中から当てはまるものを全て選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 県教育委員会のホームページ (ホットライン教育ひろしま)	33人	54.1%	66人	48.5%	152人	35.6%
2 広島県 教育に関する大綱	9人	14.8%	15人	11.0%	79人	18.5%
3 学校からの文書 ※教員は、県教育委員会・市町教育委員会からの文書	8人	13.1%	42人	30.9%	159人	37.2%
4 その他	11人	18.0%	13人	9.6%	37人	8.7%

○ 問2で「4 その他」を選択された方は、こちらに具体的に記入してください。(抜粋)

マスコミ報道

広島県教育資料

PTA活動(総会・講演会・会議等)

各種研修

学びの変革について

問1. 県教育委員会では、広島版「学びの変革」として、これまでの「知識ベースの学び」に加え、「主体的な学び」を推進しています。
あなたは、このことを御存知ですか。

【選択肢】※選択肢の中から1つ選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 知っている	48人	26.5%	149人	27.9%	289人	86.5%
2 「学びの変革」という言葉は知らないが、「主体的な学び」に取り組んでいることは知っている	46人	25.4%	105人	19.7%	30人	9.0%
3 知らない	87人	48.1%	280人	52.4%	15人	4.5%

問2. 問1で1又は2（知っている）を選択された方にお伺いします。
知ったきっかけは、何ですか。

【選択肢】※選択肢の中から当てはまるものを全て選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 県教育委員会のホームページ (ホットライン教育ひろしま)	25人	15.9%	65人	16.2%	138人	16.5%
2 県教育委員会の保護者向け広報紙「くりっぷ」	46人	29.3%	80人	20.0%	159人	19.0%
3 学校からの文書 ※教員は、県教育委員会・市町教育委員会からの文書	24人	15.3%	84人	20.9%	195人	23.3%
4 テレビでの報道	24人	15.3%	26人	6.5%	38人	4.5%
5 新聞での報道	23人	14.6%	22人	5.5%	47人	5.6%
6 学校のホームページやパンフレット	5人	3.2%	30人	7.5%	62人	7.4%
7 県教育委員会主催のイベント（研修会、講演会等）	5人	3.2%	60人	15.0%	166人	19.8%
8 その他	5人	3.2%	34人	8.5%	32人	3.8%

○ 問2で「8 その他」を選択された方は、こちらに具体的に記入してください。（抜粋）

広島県教育資料
PTA活動（総会・講演会・会議等）
学校の先生から聞いた
各種研修
学校の評議委員会

県立広島叡智学園中学校・高等学校及び県立三次中学校・高等学校について

問1. 県教育委員会では、「学びの変革」を先導的に実践する学校として「広島叡智学園中学校・高等学校」を平成31年4月に開校しました。
あなたは、このことを御存知ですか。

【選択肢】※選択肢の中から1つ選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 知っている	160人	88.4%	397人	74.3%	295人	88.3%
3 知らない	21人	11.6%	137人	25.7%	39人	11.7%

問2. 問1で「1 知っている」を選択された方にお伺いします。
知ったきっかけは、何ですか。

【選択肢】※選択肢の中から当てはまるものを全て選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 県教育委員会のホームページ (ホットライン教育ひろしま)	27人	8.6%	50人	7.0%	116人	15.0%
2 県教育委員会の保護者向け広報紙「くりっぶ」	57人	18.2%	86人	12.0%	152人	19.6%
3 学校からの文書 ※教員は、県教育委員会・市町教育委員会からの文書	6人	1.9%	24人	3.4%	94人	12.1%
4 テレビでの報道	116人	37.1%	274人	38.3%	194人	25.1%
5 新聞での報道	87人	27.8%	199人	27.8%	163人	21.1%
6 この学校のホームページやパンフレット	13人	4.2%	41人	5.7%	33人	4.3%
7 その他	7人	2.2%	41人	5.7%	22人	2.8%

○ 問2で「7 その他」を選択された方は、こちらに具体的に記入してください。(抜粋)

県のフェイスブック 友人・知人からの情報 他の保護者から P T A活動(会議・講演会・研修会など)

問3. 県教育委員会では、備北地域の「学びの変革」を牽引するため、併設型中高一貫校として「県立三次中学校・高等学校」を平成31年4月に開校しました。
あなたは、このことを御存知ですか。

【選択肢】※選択肢の中から1つ選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 知っている	100人	55.2%	250人	46.8%	222人	66.5%
3 知らない	81人	44.8%	284人	53.2%	112人	33.5%

問4. 問3で「1 知っている」を選択された方にお伺いします。
知ったきっかけは、何ですか。

【選択肢】※選択肢の中から当てはまるものを全て選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 県教育委員会のホームページ (ホットライン教育ひろしま)	15人	4.8%	30人	4.2%	55人	7.1%
2 県教育委員会の保護者向け広報紙「くりっぶ」	35人	11.2%	70人	9.8%	109人	14.1%
3 学校からの文書 ※教員は、県教育委員会・市町教育委員会からの文書	3人	1.0%	31人	4.3%	56人	7.2%
4 テレビでの報道	47人	15.0%	103人	14.4%	95人	12.3%
5 新聞での報道	56人	17.9%	116人	16.2%	94人	12.1%
6 この学校のホームページやパンフレット	1人	0.3%	17人	2.4%	27人	3.5%
7 その他	7人	2.2%	36人	5.0%	27人	3.5%

○ 問4で「7 その他」を選択された方は、こちらに具体的に記入してください。(抜粋)

地元だから 友人・知人からの情報 卒業生だから 三次市の情報番組と広報雑誌 P T A 活動 (会議・研修会等)
--

高校生の留学について

問1. 県教育委員会では、高校生向けの短期留学プログラムを案内しています。
あなたは、このことを御存知ですか。

【選択肢】※選択肢の中から1つ選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 知っている	72人	39.8%	210人	39.3%	159人	47.6%
2 知らない	109人	60.2%	324人	60.7%	175人	52.4%

問2. 問1で「1 知っている」を選択された方にお伺いします。
知ったきっかけは、何ですか。

【選択肢】※選択肢の中から当てはまるものを全て選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 県教育委員会のホームページ (ホットライン教育ひろしま)	25人	27.5%	39人	15.1%	52人	21.9%
2 県教育委員会の保護者向け広報紙「くりっぷ」	29人	31.9%	68人	26.3%	79人	33.3%
3 学校からの文書 ※教員は、県教育委員会・市町教育委員会からの文書	19人	20.9%	91人	35.1%	71人	30.0%
4 県教育委員会主催のイベント（研修会、講演会、 留学フェア等）	7人	7.7%	34人	13.1%	21人	8.9%
5 その他	11人	12.1%	27人	10.4%	14人	5.9%

○ 問2で「5 その他」を選択された方は、こちらに具体的に記入してください。（抜粋）

マスコミ報道

学校の担任の先生から

子供から

友人・知人からの情報

実際に参加した人から

問3. 県教育委員会では、外国の高校への留学を目指す高校生を対象に、高校生海外留学
等助成事業（原則、3か月以上の留学に対して、30万円を上限に給付）を実施し
ています。あなたは、このことを御存知ですか。

【選択肢】※選択肢の中から1つ選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 知っている	39人	21.5%	83人	15.5%	61人	18.3%
2 知らない	142人	78.5%	451人	84.5%	273人	81.7%

問4. 問3で「1 知っている」を選択された方にお伺いします。
 知ったきっかけは、何ですか。

【選択肢】※選択肢の中から当てはまるものを全て選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 県教育委員会のホームページ (ホットライン教育ひろしま)	15人	30.6%	21人	21.0%	21人	23.1%
2 県教育委員会の保護者向け広報紙「くりっぷ」	15人	30.6%	27人	27.0%	25人	27.5%
3 学校からの文書 ※教員は、県教育委員会・市町教育委員会からの文書	11人	22.4%	35人	35.0%	35人	38.5%
4 県教育委員会主催のイベント(研修会、講演会、 留学フェア等)	1人	2.0%	10人	10.0%	9人	9.9%
5 その他	7人	14.3%	7人	7.0%	1人	1.1%

○ 問4で「5 その他」を選択された方は、こちらに具体的に記入してください。(抜粋)

新聞報道

友人・知人からの情報

同窓会での説明

P T Aから

他の保護者から

問5. お子様がいらっしゃる方にお伺いします。どれくらいの期間であれば、お子様を
 海外留学に行かせたいと思いますか。

【選択肢】※選択肢の中から1つ選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 1週間程度	10人	6.1%	33人	6.2%	5人	2.8%
2 2週間程度	33人	20.0%	92人	17.4%	31人	17.4%
3 1か月程度	42人	25.5%	153人	28.9%	39人	21.9%
4 3か月程度	32人	19.4%	86人	16.2%	30人	16.9%
5 1年	26人	15.8%	75人	14.2%	48人	27.0%
6 行かせたくない	22人	13.3%	91人	17.2%	25人	14.0%

問6. 問5で1～5(行かせたい)を選択された方にお伺いします。
 行かせたい国はどこですか。(回答の多かった国)

アメリカ合衆国(ハワイ等含む)

ニュージーランド

オーストラリア

シンガポール

カナダ

ドイツ

イギリス

フランス

問7. 問5で「6 行かせたくない」を選択された方にお伺いします。
行かせたくない理由は、何ですか。

【選択肢】※選択肢の中から当てはまるものすべてを選んでください。

区 分	県民		保護者等		教員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 学校の勉強の遅れや出席日数が心配	3人	7.3%	13人	8.4%	4人	10.3%
2 留学の手続きがよく分からない	4人	9.8%	8人	5.2%	3人	7.7%
3 留学費用が高すぎる	12人	29.3%	49人	31.6%	9人	23.1%
4 言葉が通じるかどうか心配	5人	12.2%	17人	11.0%	4人	10.3%
5 文化の違いに対処できないのではないかと心配	4人	9.8%	26人	16.8%	5人	12.8%
6 留学にメリットがないと考えている	1人	2.4%	14人	9.0%	4人	10.3%
7 その他	12人	29.3%	28人	18.1%	10人	25.6%

○ 問7で「7 その他」を選択された方は、こちらに具体的に記入してください。（抜粋）

治安が心配
 子供が希望していない
 子供に障害があるため
 まず日本のことを学ぶことが必要
 病気やけがをした時が不安

学校生活に関連する関心事項について（「保護者等」のみに質問）

問 1. 学校生活で、関心の高い事柄は何ですか。

【選択肢】※選択肢の中から3つ以内で選んでください。

区 分	保護者等	
1 学力の向上	362人	23.9%
2 豊かな心を育む活動（体験活動等）	402人	26.6%
3 いじめ・不登校など、生徒指導上の問題点	227人	15.0%
4 進路指導	141人	9.3%
5 職業観の育成、就職指導	142人	9.4%
6 防災教育	37人	2.4%
7 食育	57人	3.8%
8 体力づくり	144人	9.5%